

いちょうの森だより

いちょうの森こども園 園だより No.86 令和7年5月7日発行
〒709-0721 桜が丘東 3-3-496
TEL:086-956-2022 FAX:086-956-2023



言葉のやりとり（つき組）

新年度から一か月が経ち、こどもたちは、気の合う友だちと積み木や砂場などをじっくりと楽しんでいます。「これ貸して」「いいよ」「一緒にしよう」など、言葉でのやりとりもたくさん聞かれています。

つき組では毎朝、みんなで顔を見合わせながらうたを歌ったり、話をしたりする時間を持っています。ある日の話題は「休みの日に何をして過ごしたか」でした。みんなの前で話すことが少し恥ずかしい様子の子も「小さい声でもいいから教えてくれる？」という保育者の声かけで「〇〇に行った」と伝えられました。「そうなんだね」とみんなに聞いてもらえて、安心したような嬉しそうな表情です。

日々の生活の中で、思いを伝える・相手の話を聞く経験を積み重ね、いつかクラスの仲間と意見を出し合い、聞き合って話し合いができるようになればと願っています。

そのため、私たち大人は、こどもたちの声に耳を傾け、言葉の意味だけでなく、その奥にある気持ちを見つめて受け止めます。そして、一人ひとりの声が響き合うクラスづくりをしています。

井上 隆雄



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。

<https://ichounomori.okayamakodomokyokai.jp/>

いっちょうやるか！（ほし組）



しっぽとり

職員が本気で追っても、全員を捕まえることは難しいです。

親子参観日では、保護者 vs こどもでしっぽとりをやろうと思っているので、ぜひご参加ください。

野上 香菜子



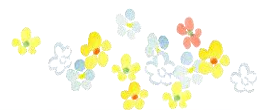
クラス自慢（にじ組）

はじめての“のり”

「これくらいの量だよ」「のばして塗ってね」と伝え、製作をしながら「どうだっけ」と思い出して塗っていました。

今回はのりを使い「こいのぼり」を作りました。部屋に飾った自分のこいのぼりを見つけると嬉しそうなこどもたちです。

竹林 亜純



今月のうた（ゆき組）

トントントン トントントン ひげじいさん
♪とんとんとんとん ひげじいさん
とんとんとんとん こぶじいさん
とんとんとんとん てんぐさん
とんとんとんとん めがねさん
とんとんとんとん てはうえに
きらきらきらきら ては〇〇(からだの場所を)



ある日、おやつの前にBさんが「とんとんとんとん♪」と手あそびを始め、それに合わせてみんなでひげじいさんをする姿がありました。

小さな先生がゆき組にはいるようです。次は誰が先生になるか楽しみです。

藤田 葵

4月のベストショット（春み～つけた！）

花かんむりを作りました（そら組）

公園への散歩時、Cさんが「たんぽぽあったよ」と摘み始め、保育者も一緒花かんむりを作ることにしました。「タンポポ足りないな」と思っていると、興味を持った周りのこどもたちからたくさんのタンポポが集まり、あっという間に花かんむりのできあがり。頭にのせて見せ合う姿に心が温まりました。

園に帰り「これにおなじの、のってたきがする」「もういっかいしたい」と絵本を見て「今度はどんな花で作ろうか」「もっと違う遊び方もあるかな」と、自分たちで考えている姿が見られました。

鈴木 美夕



虫探し（ほし組）

散歩先でカエルを捕まえました。カエルは何を食べるのか疑問を持ち、図鑑や本で調べることに。カエルは蜘蛛を食べる事が分かりました。そこから、園庭や散歩先での蜘蛛探しが始まり、捕まえた蜘蛛を、飼育ケースに入れるとカエルが蜘蛛を食べる瞬間を観察できました。少し驚いていたこどもたちですが、生き物の生態を実際に見て知ることができました。

野上 香菜子



春の風を感じながら（つき組）

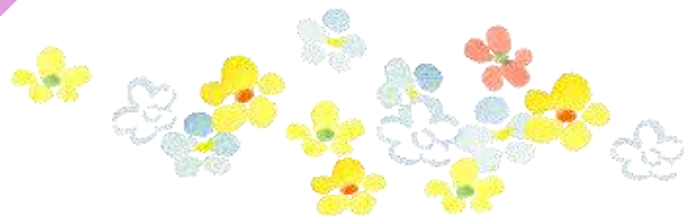
東2丁目グランドへ散歩に行きました。

つき組のブームはタンポポの綿毛。綿毛に息をふーっと吹きかけると、空へ飛んでいきます。その様子が面白いようで「タンポポあるかな」と探しています。生き物や草花の多い、春ならではの体験をこどもたちと一緒に楽しんでいます。

井上 隆雄



4月のベストショット



春をさがしに（にじ組）

ダンゴムシやたんぽぽ探しに夢中です。「あ、てんとう虫」と1人の子が言うと「どこ？」と周りの子も探しはじめます。花束にしたり、ブレスレットにしたりして楽しみました。「黄色いおはなはいっぱいあるよ」と周りの友だちにも伝え、みんなで春を楽しみました。

竹林 亜純



春爛漫（ゆき組）

近くの公園へ、手をつないで散歩に出かけました。春ならではの自然を感じて歩いていると、公園には満開の桜が。桜をみつめる笑顔も満開でした。

藤田 葵



心地よさを感じて（はな組）

園生活にも慣れて、安心して過ごせるようになり、笑顔がたくさん見られています。気候の良い日は園庭に出て、日光を浴びながら春の心地よさを感じています。

色とりどりに咲く花や草木に触れたり、匂いを嗅いでみたり、いろいろなものに触れて春を味わいたいです。

渡中 有紀子

